

農場でだけ人・急病人が発生！？

万が一の事故に、一秒でも早く対応できるように万全の対策を！

胆振農業改良普及センター

農業現場では、他産業より事故の発生率が高い傾向にあります。実践例を参考にみなさんと話し合い、いざというときのための備えを確認しましょう。

実践例① 事故発生マニュアルを作り、人目のつくところに貼っておく

〇〇農園
掲示用

事故発生時の対応マニュアル（例）

1. 事故発生・事故発見
↓
2. 被害者の安全確認
↓
3. 連絡

①緊急時連絡 救急車・火災 **119番**
 警察・事故 **110番**

②第一連絡先 氏名：〇〇 〇〇
 携帯：000-0000-0000 自宅：00-0000-0

〇事故発生場所・状況説明
 〇対応の指示を仰ぐ
4. 応急措置 救急箱は〇〇の棚（包帯・絆創膏・消毒液）

警察署（		電話〇〇-〇〇〇〇	
消防署（		電話〇〇-〇〇〇〇	
JA担当（		電話000-0000-0000	
内科 〇〇病院	電話〇〇-〇〇〇〇	□□先生	
〇〇クリニック	電話〇〇-〇〇〇〇	□□先生	
外科 〇〇病院	電話〇〇-〇〇〇〇	□□先生	
〇〇整形外科	電話〇〇-〇〇〇〇	□□先生	
困ったときの 〇〇さん 携帯：000-0000-0000			

手順・連絡先は農場に合わせた内容で。

目に付くところに掲示すると、日頃の注意喚起の効果が期待できる。

研修生が働く農場では伝わる言語も使用でわかりやすく。

カレンダー裏に手書きでも、手段はなんでもOK。

実践例② 救急箱の場所・中身を定期的に確認する

- ・ わかりやすい箱に入れ、わかりやすい場所に置く
- ・ 救急箱には包帯、絆創膏、消毒液など、常に使える状態で常備
- ・ 応急処置用の水（水道水の場所、清潔な水のストック）を把握しておく

実践例③ 応急処置の知識・技術を身につけておく

- ・ 地区の救急救命講座の受講
- ・ 一般市民向け応急手当WEB講習（eラーニング、消防庁が公開）の受講